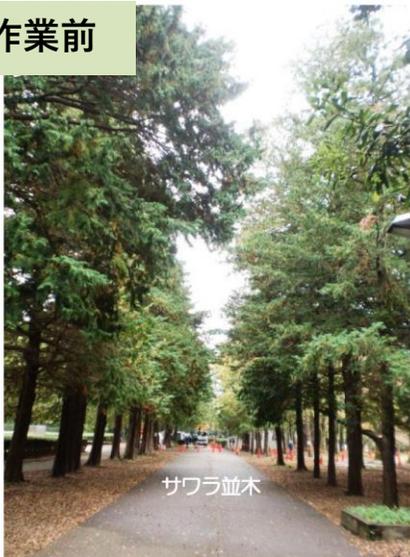


植栽の計画的な管理の推進

- ・立地や利用状況などを踏まえ公園にふさわしい緑をつくるため、植物が健全に生育し、良好な景観や緑陰の形成等の機能が効果的に発揮されるよう、幅広い専門家の意見を取り入れ、将来を見据えて管理目標や管理方法を定めた植栽計画を策定し、維持管理水準を向上

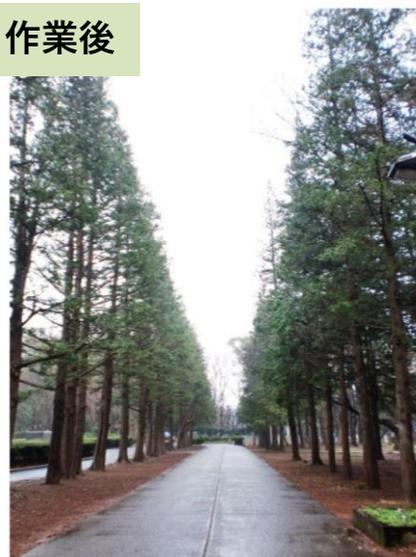
作業前



サワラ並木

樹木の生長により、
景観や見通しが良くない状態

作業後



適切な維持管理により、
景観や見通しが改善した状態

公園施設の整備・維持管理水準の底上げ

- ・テーブルやベンチ、トイレ、遊具等の施設の点検の徹底やきめ細やかな清掃、速やかな修繕など、誰もがいつも安全快適に利用できるよう日常の維持管理水準を向上

<都立公園の緑とは>

- 都立公園は、都民が快適に楽しく、安心して過ごせる憩いの場である。また、クールアイランドとして都市環境の緩和、美しくうるおいと風格のある景観の形成、多様な生き物の生息の空間、災害時の避難場所・救出救助活動拠点として命を守る場など、様々な役割を果たしている
- 公園の植栽は、公園がこうした多様な役割を効果的に果たすことができるよう、**公園の性格や公園内のエリアごとに求められる機能等を踏まえて、樹木等を植栽し、育成していくものである**

公園の拡張整備の推進

- ・「都市計画公園・緑地の整備方針」に基づき、市街地から丘陵地にわたり新規公園の整備・開園や既設公園の拡張整備を進め、東京の緑の骨格に厚みとつながりを持たせるとともに、水と緑のネットワークの充実を図る。特に丘陵地公園の整備を加速していく
- ・政策連携団体の活用などにより、用地取得体制を強化

新規公園の整備
(高井戸公園)



パークマネジメントマスタープランの主な取組

公園の魅力を高めTOKYOの顔に

- ・ 個々の公園が持つ特性を活かしつつ、誰もが使いやすく楽しめるようリニューアルを行う「都立公園リフレッシュプロジェクト」を展開

都立公園リフレッシュプロジェクト

○概要

- ・ 印象的な花の景観を創出
- ・ エントランスや園路広場等のまとまったエリアをリニューアル
- ・ ハード・ソフトの様々な取組を組み合わせることで、公園の特色を際立たせ、更なる魅力を向上



花による景観の創出イメージ

○今後の取組

- ・ 代々木公園や小金井公園など、10年間に10公園程度で計画的に実施

【実施公園】

木場公園、潮風公園、砧公園、代々木公園、光が丘公園、舎人公園、水元公園、葛西臨海公園、武蔵野の森公園、小金井公園、狭山公園

サードプレイスとなる環境づくり

- ・ こどもからお年寄りまで公園に訪れた幅広い人たちが公園に滞在する時間を豊かに過ごせるよう、軽量チェアやパラソル、マットや遊び道具等の貸出を行うなど、新たなサービスを提供



軽量チェアやパラソルの貸出
(リトルアイランド、ニューヨーク市)



遊び道具等の貸出やデッキの設置
(明治公園)

パークマネジメントの推進に向けて

- ・ パークマネジメントマスタープランで示した都立公園全体としての目標を実現するため、各公園の取組方針となる公園別マネジメントプランを策定
- ・ PDCAサイクルに基づいたマネジメントサイクルを構築し、適切に進行を管理